

## なぜ機械式腕時計は高いの？

なぜ？と聞かれるとなんと答えていか困るのですが・・・

まず考えられるのは、加工技術が難しいことが上げられます。髪の毛ほどの細く細かい金属や微細極まりない部品をわずか直径約30mmの中に組み込むわけですから、その技術を考えても高級品であることに納得出来るのでは？ ないでしょうか。

歯車の組み合わせは、おおよそ2兆5千億通りあると言われています。各メーカーはその中から最適な組み合わせを選び、時計（ムーブメント）を制作します。100%の設計、100%の加工をしたとしても、最後は人の手で組み立て調整をしなくては完成しないのが機械式腕時計なのです。

工業製品ではなく、実用できる工芸品というのが正しいのかもしれません。

## 手巻き式と自動巻きのちがいは？

手巻き式時計は、リュース（時間などを合わせるところ）を巻くことでゼンマイが巻け、駆動します。一般的な機械式時計は約40時間前後動きます。リュースを巻き、ゼンマイがいっぱいまで巻けていても、丸2日は動きませんので1日1回巻く必要があります。手巻き時計の特徴としてゼンマイの巻き終わりがあることが挙げられます。巻けない所まで巻くのですが、慣れないと巻きすぎによるゼンマイ切れを起こし破損させることがあります（その場合、修理しないとダメです）。

自動巻き時計は、ムーブメント（機械）に備え付けられた扇形のローター（錘）が腕の動きによって回転しゼンマイを巻き上げる機能をもった時計のことです。手巻きのように定期的に巻く必要はなく、装着していれば勝手に巻いてくれます。駆動時間は手巻きとかわりませんので、しないで約40時間後には止まります。手巻きの機能もあるので併用して使うことが出来ます。手で巻いても自動巻きと同じ効果がありますので止まってしまったら、使い始めるときには手巻きで駆動させると良いでしょう。

どちらが良いかは好みです。

最近の傾向として、幅広い価格帯で自動巻きの主流となっています。手巻きの時計は高額なモノに採用されていることが多いようです。

## 機械式腕時計の魅力

機械式腕時計の魅力（魔力）は、使い手がいないと動かないこと（クォーツは電池が切れるまで勝手に動く）。人が巻くことで、時計に命が与えられ持ち主と同じ『時』を共有出来るからこそ愛着が湧き、『一生モノ』となることです。

わずか30mmの空間に、数百にも及ぶ部品が組まれ歯車のかみ合せだけで想像も出来ないような機能が詰まった機械式腕時計は、現在の技術をもってしても人の手によって組み立てられます。最後は人なんです。ねえ。

時間に縛られ忙しく毎日を過ごす中で自分が身につける時計だけは、刻がゆっくりと流れるアナログ時計で癒されるというのが最大の魅力かもしれません。

## 機械式腕時計とクォーツの違いは？

機械式時計はゼンマイの動力で動きます。ゼンマイの解ける力を動力とし、歯車の輪列から時間、日付など多彩な機能を金属の微細な部品の組み合わせによって表示しています。

クォーツは、電池式をさします。機械式と違い電力を動力として駆動します。現在、一般的な時計の多くは『Quartz』です。文字盤に『Quartz』と表示されていることが多いと思います（機械かクォーツか分からないときは文字盤や裏蓋の記載で判断できます）。



代表

清水 義孝

SHIMIZU Yoshitaka

E-mail : shimizu@doppel.biz

ドッペルコーポレーション

〒300-0005 茨城県つくば市天久保2-9-5パインヒルズツクバA-01

Tel/Fax : 029-854-7035

URL : <http://www.doppel.biz>